

# 家庭教育リーフレットを活用した語り合いの進め方

生涯学習課では、保護者が子育てのエピソードや気づきを交流することで、学び合う学習方法を進めています。家庭教育リーフレットを資料として活用した「語り合い」の学習について紹介しますので、各校・園・所等で研修や講座を開催する際にはご活用ください。

(リーフレット紙面)

## 小学生の保護者へ



### ② オンラインゲームに夢中で悩んでいます。 いったいどうすればいいの？

オンラインゲームで遊びだしてから、様々なトラブルが発生。オンラインゲームが友達同士の遊びの中心になっていることは知っていたけど、まさかこんなに影響されてしまうなんて…「叱ってばかりも嫌だし、放っておいたらいつまでもゲームばかり」 いったい保護者はどのようなことに気を付けていけばいいのでしょうか？



### ③ 子育てへのアドバイス

この時期の発達上の特徴として、「善悪の判断について大人からの影響を受けやすい(～低学年)」、「閉鎖的な仲間集団が発生し、仲間に影響された行動をすることもある(～高学年)」といったことが挙げられます。大人がルールを守る見本を示し、子どもが自分でルールを守る力をつけられるよう、子どもに寄り添い、しっかりと話ができる親子関係を築いていきましょう。

**Point**

ルールは大人だけで決めるのではなく、スマホ・ネットの長時間使用でどのような影響(学力、健康、人間関係など)があるのが等、親子で話し合って決めましょう。また、ゲームやアプリのレーティング(年齢区分)確認、課金(決済情報の管理)に関する約束等もおきましょう。

ネットの利用だけではなく、子どもの毎日の生活を見つめ、必要な場面で保護者が関わるのが大切です。

- ふりかえってみよう**
- 子どもがどのようにスマホ・ネットを使うとよいかを家族で話したことがある。
  - レーティング(年齢区分)、フィルタリング、スマホの位置情報等の設定の仕方を知っている。
  - スマホ・ネットモラルについて子どもや保護者が学べる機会を知っている。また、参加したことがある。
  - 子どもと学校生活や友達関係などについて話をする機会をもっている。

## 語り合いの進め方(参考)

- (語り合いができるベースづくり)
- ・各グループにファシリテーター役を決める
- ・交流がしやすい雰囲気づくり
- ・語り合いのルールの紹介

### 4つのルール

- 相手の考えを受け止めましょう(共感)
- ここだけの話にしましょう(秘密厳守)
- 参加者みんなが話しましょう(公平)
- 話したくないことは話さないでおきましょう(自由)

- ①リーフレットの4コマ漫画を読み、感想を交流する。
- ②リード文⇒グラフや図の順番で読み進め、感想を交流する。
- ③「子育てへのアドバイス」やPOINTを読み、ふりかえったり、思ったりしたことを交流する。
- ④今回の交流から、気づいたことや生かせそうなことを書き交流する(記入することでしっかりと今日の学びをふりかえることができる。必須ではない)



リーフレットダウンロード用二次元コード

**Q1: 資料(家庭教育リーフレット)はどうすれば手に入りますか？**  
 ⇒A: 県生涯学習課のホームページからダウンロードが可能です。各ページを組み合わせたことで様々な使い方ができます。また、研修や学習会で使用される場合は、現物のリーフレットを送付しますので、県生涯学習課までご連絡下さい。

**Q2: 「語り合い」の前に「子育てとインターネット」について30分程度で説明をしてもらえますか？**  
 ⇒A: 可能です。時間に応じて生涯学習課員がスライドを使いながら説明をします。「語り合い」の活動と組み合わせることで、効果的な学びのプログラムが出来上がります。

**Q3: 「語り合い」の進め方を教えてもらえる研修会はありますか？**  
 ⇒A: 生涯学習課が主催の「子育て・親育ち学習講座」に参加いただくことで学び方を理解することができます。また、各市町PTA等を単位として「語り合い」の学習を開催していただくことで、参加した方が「語り合い」の学び方を知り、ファシリテーターとなって様々なところで学びを進めていくことができます。